



今年一年間、ありがとうございました！

今年を振り返ると、私はリオデジャネイロオリンピック&パラリンピックに出場された本市出身の選手やコーチの活躍が印象深いです。水泳競技の松本選手や藤森選手は入賞を果たし、ウィルチェアーラグビーの若山選手は銅メダル、内藤コーチのボッチャ日本選手団は銀メダルを獲得いたしました。それぞれ競技に違いはありますが、共通して言えるのは、見る者に感動を与え、故郷「日本」のために頑張った事だと思います。

私も故郷「沼津」のため、粉骨砕身努力して参りますので、引き続きご指導とご支援を宜しくお願いいたします。

大沼明穂市長の所信表明に相次ぐ一般質問！

平成28年10月30日(日)施行の沼津市長選挙において、民間企業出身の大沼明穂(おおぬま あきほ)氏が当選し、平成28年11月10日(木)から市長に就任(任期4年)されました。

第7回定例会(平成28年11月議会)では、11月25日(金)開会初日に大沼市長から所信表明が述べられました。その内容は、市長選挙を通じて感じた事や沼津をどのようなまちにしたいのか発言されましたが、それぞれの事柄に対する考えや政策が抽象的であったため、各議員から一般質問を通じて事業に関する方針や戦略について確認する質問が相次いで実施されました。



沼津は、県東部の拠点都市なの？

今回の一般質問において、静岡県東部の拠点都市として沼津市は何をすべきか、また企業などの産業振興策について議論しました。

●広域行政は、どの様に進めるか？

○市長の考え：伊豆半島を中心に、連携観光に重きを置いてリーダーシップを発揮すれば、必ず各市町と一緒にやれると感じている。積極的に会話をしていきたい。

●近隣市町との広域合併は、どの様に考えているか？

○市長の考え：合併は自分たちだけで考える事はできないため、相手が合併をしたいと思うように、皆から好かれる沼津になっていく事が一番の近道だと考える。

●中核市に対して取り組まないの？

○市長の考え：沼津市にとっては、どの様なメリットがあるのか。きちっと考えて戦略を立てていく事が必要と思っている。

●産業振興策は？

○市長の考え：自分が企業誘致のセールスマンの先頭となり、沼津の豊かな自然、東京への通勤圏内等を強みとして提案して回りたいと考えている。

◎発言映像 = 沼津市議会HP → 会議録検索システム → 第7回定例会 → 第2日目

Proud NUMAZU (プラウド ヌマツ) !

◎片浜コミ祭り、開催！

11月19日(土) & 20日(日)に、片浜コミュニティ祭りが片浜地区センターで開催されました。19日を文化祭と位置づけ、20日は各種売店やイベントが運営されました。中でも、沼津市危機管理課のご協力で開催された「避難所生活体験コーナー」では、段ボールによる仕切りの中で寝る体験ができました。また、非常食の試食も行われ、防災に対する備えの重要性をあらためて感じました。



25年間保存可能な非常食

◎西間門文化祭、開催！

毎年恒例の西間門文化祭が11月5日(土) & 6日(日)に開催されました。両日とも晴天で、展示品を一目見ようと多くの方にお越しいただきました。当日は、西間門子供会の役員やくこの会の皆様にご協力をいただき、搗きたての餅を振る舞いました。



訪れた多くの観覧者



◎市内一斉清掃&ステーション看板の更新 IN 西間門

11月20日(日)に、市内一斉清掃が実施されました。多くの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。



多くのゴミが、集まりました！
ありがとうございました！



◎路上喫煙の規制を検討！

沼津駅周辺では、喫煙場所利用者は多いものの喫煙に関する規制や喫煙場所への誘導がないことから、特に夜間において喫煙場所ではない道路、公園、河川、海岸、その他の屋外の公共の場での喫煙（路上喫煙）が見受けられるため、受動喫煙の危険性やまちの美観を踏まえ、環境保全審議会やワーキンググループ会議で協議してきました。市は審議会の答申を受け、条例制定を前提に、沼津駅周辺に重点規制区域を設け路上喫煙を禁止しつつ分煙環境を整える方向で検討しています。

（赤色部分＝重点規制区域、★印＝喫煙所）

重点規制区域
路上喫煙禁止

駅北口

駅南口

◎少年自然の家を廃止！

野外教育の拠点として、長期にわたって愛用され続けてきた少年自然の家を、新しい活用手法として民間企業に委ねるため、運営根拠となる条例を廃止しました。

現在は、決定された事業者と市が基本協定書を締結し、平成29年4月以降に供用開始の予定で準備を進めております。

（左図は民間事業者の提案資料の抜粋、今後の協議により変更の可能性あり）



◎地域防災訓練を実施！

12月4日（日）に地域防災訓練が実施され、多くの住民が参加されました。西間門自主防災では、可搬ポンプ運転による消火活動訓練や水消火器による模擬消火訓練、負傷者を救済するための三角巾講習、非常食の試食を行いました。

ところで、訓練内容がマンネリ化していると言われる方もおりますが、この訓練は「非常時でも対応できるようにするための練習」です。あなたは、非常時に可搬ポンプを操作できますか？非常時に家族を守れますか？練習しないで本番に何ができますか？見直しましょう、防災準備。高めましょう、防災意識！



第7回定例会で明らかになった大沼市長の考え方！

各事業	定例会での市長答弁	ポイント
市の財政	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 財政運営は健全である。 ◆ 市民に伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 約6年前（梶議員が初当選したころ）から比べると各種指数が改善されている。 ◆ ホームページや広報で周知しているが、分かり易く伝える方法を模索する必要あり。
鉄道高架事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市長の立場はニュートラルであり、賛成も反対も表明すべき段階ではない。 ◆ 世界一元気な沼津のために資するものとの認識はあるが、情報公開しつつ、専門家により財政状況や事業効果を再検証する。ただし検証の時期・期限は未定。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 静岡県が行った有識者会議やPIを超える検証を沼津市単独で行うのは時間と費用が必要となる。 ◆ スピード感をもって取り組むためには、期限を明確に決めてから取り組むべき。 ◆ 平成29年度予算へどのように反映するかがカギ。
ららぽーと沼津	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交流人口の拡大や雇用の確保、市域全体の情報発信や防災対策の強化などに資するものとして期待するものであり、円滑な事業の推進が図られるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 運営企業と地権者間で契約されている事を重んじる。 ◆ 土地の有効活用を横展開し、各種産業や企業の誘致や移転をし易い環境を整える必要がある。
市長給与	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 半減は2年間限定。 ◆ 2年後、厳しく自己評価し、その後の対応を考える。 ◆ 退職金の半減は、退任時に自ら判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 給与半額は公約として掲げ選挙戦に取り組んでいた。 ◆ 金銭的余裕がなければ市長に立候補あるいは就任し続けられない風潮は良くない。

～～梶やすひさプロフィール～～（1970年 沼津市大岡に生まれる）

経歴	1989年	静岡県立沼津工業高校卒業 東芝機械(株)入社	役職	◇片浜地区コミュニティ推進委員会 顧問
	1998年	東芝機械労働組合役員		◇片浜地区社会福祉協議会 顧問
	2011年	沼津市議会 1期目当選 総務経済委員会委員長		◇西間門自治会 相談役
	2015年	沼津市議会 2期目当選 一般会計委員会副委員長		★沼津市立高校・中等部PTA 顧問 ★沼津市立高校女子バスケット部後援会 副会長 ☆静岡県立沼津工業高校同窓会 理事 ☆八重クラブ（沼工OB会） 監事